



2021年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（非連結）

2021年2月8日

上場会社名 尾家産業株式会社 上場取引所 東
 コード番号 7481 URL <http://www.oie.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 尾家 啓二
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理本部長 (氏名) 尾家 健太郎 TEL 06-6375-0158
 四半期報告書提出予定日 2021年2月9日
 配当支払開始予定日 -
 四半期決算補足説明資料作成の有無：無
 四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 2021年3月期第3四半期の業績 (2020年4月1日～2020年12月31日)

(1) 経営成績 (累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期第3四半期	50,821	△32.4	△1,305	—	△870	—	△2,758	—
2020年3月期第3四半期	75,140	△1.7	586	4.4	652	△0.3	544	33.7

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年3月期第3四半期	△304.89	—
2020年3月期第3四半期	60.13	—

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2021年3月期第3四半期	30,668	10,118	33.0	1,118.37
2020年3月期	30,677	12,931	42.2	1,429.20

(参考) 自己資本 2021年3月期第3四半期 10,118百万円 2020年3月期 12,931百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年3月期	—	10.00	—	10.00	20.00
2021年3月期	—	0.00	—	—	—
2021年3月期 (予想)	—	—	—	—	—

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

当社は定款において期末日を配当基準日と定めておりますが、現時点では当該基準日における配当予想額は未定とさせていただきます。

3. 2021年3月期の業績予想 (2020年4月1日～2021年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	65,000	△32.3	△1,950	—	△1,400	—	△3,350	—	△370.24

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2021年3月期3Q	9,255,000株	2020年3月期	9,255,000株
② 期末自己株式数	2021年3月期3Q	207,055株	2020年3月期	206,765株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2021年3月期3Q	9,048,102株	2020年3月期3Q	9,048,256株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項については、添付資料2ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期貸借対照表	3
(2) 四半期損益計算書	5
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項	6
(継続企業の前提に関する注記)	6
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	6
(追加情報)	6

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症拡大により経済活動が制限され、企業収益の減少や個人消費の低迷、雇用環境の悪化等を招き、厳しい状況で推移致しました。更には感染第3波と呼ばれる事態を迎え、今後の景気動向については予断を許さない状況が続いております。

当社の主要取引先であります外食産業市場におきましては、2020年5月の緊急事態宣言解除後、経済活動の再開や政府主導によるGoToトラベル事業の推進やGoToEatキャンペーン等の効果もあり、一定の回復がみられました。しかし、再び感染者数が増加したことで政府の施策は一時休止、忘年会やパーティー等の各種会合・会食の自粛が大きく進み、更には冬休みの旅行や年末年始の帰省を含む移動が規制された事で外食利用客数が大幅に減少したこと等を背景に依然として厳しい状況が続いております。

このような経営環境の下、当社は早期の業績回復と将来への再成長を実現するために、顧客と社員を含む全てのステークホルダーの感染防止を徹底し、変化する顧客のニーズに臨機応変に対応しながら事業を継続して参りました。

営業政策としては、2020年8月から10月にかけて1万人を超える飲食店様に来場頂く事ができた「2020年秋季オンライン提案会」の成果創出に努めました。好きな時間にどこからでも入場できる環境をご用意したことが、今まで以上に新規の飲食店様や新しい業種の方々の来場にも繋がりました。その後のリモート商談やメール等を駆使した営業により、高い成約率で新たな取引を開始することができました。

また、当社重点業態の1つである病院・高齢者施設等のヘルスケアフード事業は、10月から11月にかけて「やさしいメニュー ウェビナー&オンライン提案会」を開催し、通常の3倍近くのお客様に来場頂きました。特に初めて実施したウェビナー(オンラインセミナー)を多数の熱心な管理栄養士の方々にご覧頂けたことで新たな商談に繋がりました。ヘルスケアフード事業の売上は前年同期比105.3%と、コロナ禍においても好調を維持しました。

以上の結果、当第3四半期累計期間の経営成績は、売上高508億21百万円(前年同期比32.4%減)、営業損失△13億5百万円(前年同期は営業利益5億86百万円)、経常損失△8億70百万円(前年同期は経常利益6億52百万円)、減損損失の計上や繰延税金資産の取り崩しを行った結果、四半期純損失は△27億58百万円(前年同期は四半期純利益5億44百万円)となりました。

なお、当社は食品卸売事業の単一セグメントであるため、セグメント別の記載を省略しております。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第3四半期会計期間末の総資産は、306億68百万円となり、前事業年度末と比較して8百万円減少となりました。

主な要因は、受取手形及び売掛金が15億42百万円、商品が4億56百万円、その他流動資産が1億67百万円増加したものの、未収入金が2億26百万円、建物が1億53百万円、建物附属設備が11億16百万円、繰延税金資産が6億58百万円、貸倒引当金が1億32百万円減少したことによりです。

(負債)

負債は205億49百万円となり、前事業年度末と比較して28億4百万円増加となりました。

主な要因は、買掛金が14億27百万円、1年内返済予定の長期借入金が8億76百万円、長期借入金が12億58百万円、繰延税金負債が3億79百万円増加したものの、未払金が4億67百万円、賞与引当金が2億7百万円、未払法人税等が2億50百万円、役員退職慰労引当金が1億40百万円減少したことによりです。

(純資産)

純資産は101億18百万円となり、前事業年度末と比較して28億12百万円減少となりました。

主な要因は、繰越利益剰余金が28億49百万円減少したことによりです。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

2021年3月期の業績予想につきましては、サマリー情報「3. 2021年3月期の業績予想(2020年4月1日～2021年3月31日)」に記載の通りです。

2. 四半期財務諸表及び主な注記

(1) 四半期貸借対照表

(単位:千円)

	前事業年度 (2020年3月31日)	当第3四半期会計期間 (2020年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,583,229	3,509,504
受取手形及び売掛金	9,364,558	10,906,955
商品	2,509,415	2,965,713
未収入金	1,303,001	1,076,112
その他	30,613	197,797
貸倒引当金	△177,108	△45,449
流動資産合計	16,613,709	18,610,633
固定資産		
有形固定資産		
建物	4,047,404	4,047,404
減価償却累計額及び減損損失累計額	△701,997	△855,538
建物(純額)	3,345,407	3,191,865
建物附属設備	5,429,815	5,431,415
減価償却累計額及び減損損失累計額	△2,385,409	△3,503,476
建物附属設備(純額)	3,044,406	1,927,939
構築物	301,395	301,395
減価償却累計額及び減損損失累計額	△118,312	△141,522
構築物(純額)	183,083	159,873
機械及び装置	352,440	348,840
減価償却累計額及び減損損失累計額	△184,844	△211,700
機械及び装置(純額)	167,595	137,139
車両運搬具	2,686	1,886
減価償却累計額	△2,244	△1,886
車両運搬具(純額)	442	0
工具、器具及び備品	604,979	596,945
減価償却累計額及び減損損失累計額	△367,439	△421,234
工具、器具及び備品(純額)	237,539	175,711
土地	2,110,131	2,110,131
建設仮勘定	—	92,928
有形固定資産合計	9,088,606	7,795,589
無形固定資産		
ソフトウェア	233,884	197,673
ソフトウェア仮勘定	—	7,609
電話加入権	26,614	26,614
無形固定資産合計	260,498	231,896
投資その他の資産		
投資有価証券	1,250,258	1,304,851
差入保証金	2,469,209	2,402,336
会員権	11,708	11,666
保険積立金	30,960	30,960
破産更生債権等	54,056	53,355
繰延税金資産	658,496	—
投資不動産	586,002	531,519
減価償却累計額	△294,950	△250,370
投資不動産(純額)	291,052	281,149
その他	7,137	3,816
貸倒引当金	△58,407	△57,400
投資その他の資産合計	4,714,471	4,030,735
固定資産合計	14,063,577	12,058,221
資産合計	30,677,287	30,668,854

(単位:千円)

	前事業年度 (2020年3月31日)	当第3四半期会計期間 (2020年12月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	11,322,354	12,750,205
1年内返済予定の長期借入金	708,000	1,584,660
リース債務	86,262	82,212
未払金	514,407	46,855
未払費用	1,279,858	1,181,388
未払法人税等	250,631	—
賞与引当金	280,000	73,000
その他	23,211	—
流動負債合計	14,464,727	15,718,321
固定負債		
長期借入金	537,000	1,795,120
リース債務	208,224	186,626
退職給付引当金	1,501,860	1,580,582
役員退職慰労引当金	252,142	111,620
資産除去債務	722,940	719,693
繰延税金負債	—	379,747
その他	58,624	58,224
固定負債合計	3,280,791	4,831,613
負債合計	17,745,518	20,549,934
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,305,700	1,305,700
資本剰余金		
資本準備金	1,233,690	1,233,690
資本剰余金合計	1,233,690	1,233,690
利益剰余金		
利益準備金	154,131	154,131
その他利益剰余金		
別途積立金	4,600,000	4,600,000
繰越利益剰余金	5,281,427	2,432,233
利益剰余金合計	10,035,559	7,186,364
自己株式	△171,755	△172,193
株主資本合計	12,403,193	9,553,561
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	528,575	565,358
評価・換算差額等合計	528,575	565,358
純資産合計	12,931,768	10,118,919
負債純資産合計	30,677,287	30,668,854

（2）四半期損益計算書
（第3四半期累計期間）

（単位：千円）

	前第3四半期累計期間 （自 2019年4月1日 至 2019年12月31日）	当第3四半期累計期間 （自 2020年4月1日 至 2020年12月31日）
売上高	75,140,307	50,821,153
売上原価		
商品期首たな卸高	2,847,509	2,509,415
当期商品仕入高	64,167,797	42,692,962
合計	67,015,306	45,202,378
商品期末たな卸高	4,141,163	2,965,713
商品売上原価	62,874,143	42,236,665
売上総利益	12,266,164	8,584,488
販売費及び一般管理費	11,679,970	9,889,780
営業利益又は営業損失（△）	586,193	△1,305,291
営業外収益		
受取利息	1,751	2,344
受取配当金	13,286	10,603
貸倒引当金戻入額	9,062	128,972
受取賃貸料	90,958	105,768
雇用調整助成金	—	263,491
雑収入	22,629	26,316
営業外収益合計	137,687	537,496
営業外費用		
支払利息	2,617	4,721
賃貸費用	65,126	94,887
雑損失	4,033	2,975
営業外費用合計	71,777	102,584
経常利益又は経常損失（△）	652,104	△870,380
特別利益		
固定資産売却益	187,595	—
特別利益合計	187,595	—
特別損失		
減損損失	—	832,535
特別損失合計	—	832,535
税引前四半期純利益又は税引前四半期純損失（△）	839,700	△1,702,916
法人税、住民税及び事業税	286,443	33,979
法人税等調整額	9,149	1,021,816
法人税等合計	295,593	1,055,796
四半期純利益又は四半期純損失（△）	544,106	△2,758,712

（3）四半期財務諸表に関する注記事項

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）

該当事項はありません。

（追加情報）

当社は、第2四半期会計期間においては、足元の新型コロナウイルス感染症の感染状況を踏まえた結果、第3四半期会計期間以降は緩やかに回復が見込まれると仮定しておりました。

しかし、当第3四半期会計期間において、2020年11月からの新型コロナウイルス感染症第3波による外出自粛や取引先である外食店舗の営業自粛及び各自治体からの営業時間短縮の要請等により、当社の業績は大きく影響を受けました。また2021年1月の緊急事態宣言の再発令により、今後も厳しい状況が続くものと予想されます。

当該影響は翌事業年度以降も一定程度は続くものの、翌事業年度末に向け緩やかな回復が見込まれることを前提とし、繰延税金資産の回収可能性と固定資産の減損会計等の会計上の見積りを行っております。

当第3四半期会計期間において、上記仮定のもと、繰延税金資産の回収可能性と固定資産の減損損失の要否について検討を行った結果、繰延税金資産の取り崩しと固定資産の減損損失を計上しております。

なお、新型コロナウイルス感染症の影響が今後さらに長期化した場合や深刻化した場合には、第4四半期会計期間以降の当社の財政状態及び経営成績に影響を及ぼす可能性があります。